

歯の 臨床×研究×教育——その先にある、歯科技工士の可能性—— ● 歯科技工士 ● 未来は自分で創る

第1部

“学ぶ”が味方になる日

【講師】▶ 尾幡 大 先生
香川県歯科医療専門学校 教員

第2部

研究心が導く 歯科技工士の新たな展開

【講師】▶ 鴨居 浩平 先生
徳島大学病院医療技術部歯科医療技術部門技工室
歯科技工士技師長

第3部

歯科技工士としてどう在りたいか

【講師】▶ 伊藤 彰規 先生
伊藤企画 代表 / 歯科技工士

2026 **2/1** **SUN** 9:00~12:00

会場▶ 香川県歯科医療専門学校 7F 8020ホール

定員▶ **100名**(事前申込制)

参加無料 [お申し込みはこちらから](#)



公益社団法人 香川県歯科医師会立
香川県歯科医療専門学校
〒760-0020 香川県高松市錦町二丁目8番37号

TEL **087-851-6414**

受付時間 / 9:00~17:15(土日祝除く)

担当 / 都倉・神前・尾幡



尾幡 大先生 香川県歯科医療専門学校 教員

第1部▶ “学ぶ”が味方になる日

皆さんは、「学ぶ」ということに対してどのようなイメージをお持ちでしょうか？私はどちらかと言うと「学ぶ」や「勉強」ということを避けてきたタイプで、とても苦手意識があります。また、歯科技工士になった理由も人と話すことが苦手で、物づくりが好きで一人でコツコツすることを好む性格です。そのような私でも歯科技工士学校の教員となり、環境が変わることで「学ぶ」ということを身近に感じることができました。また、学びを通して、教員になる前には想像もつかなかった「人」との出会いや、素晴らしい経験をすることができました。この経験は一人では決してできません。多くの人と関わることで日々の歯科技工士ライフを何倍も楽しくすることが可能です。

歯科技工業界は私を含め話すことを苦手とする方も多いと言われる中、今回は教育心理学について歯科技工士の観点からコミュニケーションを円滑にできるきっかけとなるテクニックをお伝えできたらと思います。

『学ぶ』ことは歯科の知識だけではありません。様々なことを様々な人と学びこれからの人生を豊かにできるよう、本日の講演会を通して少しでも皆さんの可能性が広がるきっかけになれば幸いです。

- 略歴**
- 2010年 香川県歯科医療専門学校 卒業
 - 2010年 アントレナント 勤務
 - 2013年 香川県歯科医療専門学校 勤務
 - 2015年 職業教育・キャリア教育財団 キャリアサポーター認定取得
 - 2016年 日本福祉大学 福祉経営学部 医療・福祉マネジメント学科 卒業
 - 2016年 全国歯科技工士教育協議会 教員研修認定取得
 - 2020年 日本歯科技工学会 国内渉外委員就任
 - 2023年 全国歯科技工士教育協議会 教員研修委員就任
 - 2024年 成人矯正歯科学会認定歯科技工士2級
 - 2024年 日本歯科技工学会 代議員就任

- 所属学会 所属勉強会**
- 一般社団法人日本歯科技工学会
 - 日本成人矯正歯科学会
 - 全国歯科技工士教育協議会

- 受賞歴**
- 2021年 「四国の歯科技工士学校養成所卒業生の離職調査と課題」若手研究者優秀論文 受賞
 - 2022年 「モチベーション二要因理論を用いたアンケートによる新人歯科技工士の意識分析」優秀発表賞 受賞
 - 2024年 「モチベーション二要因理論を用いた意識調査による新人歯科技工士の仕事を続ける要因」優秀研究論文賞 受賞

- 書籍**
- 歯科技工 2019年4月号【雑誌投稿】
「教育現場から伝える歯型彫刻の重要性-「上達することを楽しむ」ための、実践と継続のポイント」



鴨居 浩平先生 徳島大学病院医療技術部歯科医療 技術部門技工室 歯科技工士技師長

第2部▶ 研究心が導く歯科技工士の新たな展開

歯科技工は、歯科医療の中核を担う専門領域であり、その成果は患者の口腔機能および生活の質(QOL)の維持・向上に直結する。一方で、近年の医療技術の高度化や医療ニーズの多様化により、従来の歯科技工の域を超えた医療的対応が歯科技工士に求められるようになってきている。これまで歯科技工は熟練した手技と経験を中心に発展してきたが、そういったニーズに応えるためには、科学的根拠に基づく技工実践が不可欠である。本講演では、歯科技工を「医療」として再定義し、技術の習熟に加えて知識の深化と研究的思考を育むことの重要性を論じる。科学的根拠に基づく知識を備えることは、歯科医師や歯科衛生士など多職種との円滑な情報共有や、治療方針や目的に対する議論を可能とし、チーム医療の中でより高い精度の治療成果を生み出す基盤となる。さらには歯科技工の技術と知識をもとに広がる、新たな医療の可能性についても実例を元に話ができればと思う。本講演を通して、技術・知識・研究心を統合することで広がる多職種との医療連携と、医療人としての歯科技工士の可能性を皆で展望できればと考える。

- 略歴**
- 2010年 3月 広島大学 歯学部口腔保健学科 口腔保健工学専攻 卒業
 - 2010年 4月 徳島大学 病院診療支援部歯科医療 技術部門技工室 歯科技工士
 - 2025年 4月 徳島大学病院医療技術部歯科医療 技術部門技工室 歯科技工士技師長
- 役職等**
- 2012年 3月 広島大学 歯学部 非常勤講師
 - 2013年 4月 一般社団法人徳島県歯科技工士会 理事
 - 2016年 6月 公益社団法人日本歯科技工士会 歯科技工士労務対策委員会委員
 - 2016年 9月 一般社団法人日本歯科技工学会 専門歯科技工士
 - 2016年 11月 日本災害派遣医療チーム業務調整員
 - 2017年 9月 日本口腔顎顔面技工学会 理事
 - 2018年 4月 香川県歯科医療専門学校技工士科 非常勤講師
 - 2022年 6月 一般社団法人日本歯科技工学会 代議員
 - 2022年 9月 一般社団法人日本歯科技工学会 専門歯科技工士制度運営委員会委員
 - 2023年 6月 一般社団法人徳島県歯科技工士会 常務理事
 - 2024年 7月 一般社団法人日本歯科技工学会 総務委員会委員長
 - 2025年 2月 睡眠歯科学会歯科衛生士歯科技工士委員会委員
 - 2025年 4月 公益社団法人日本歯科技工士会 日技認定講師

- 所属学会 所属勉強会**
- 公益社団法人日本補綴歯科学会
 - 一般社団法人日本歯科技工学会
 - 一般社団法人日本摂食嚥下リハビリテーション学会
 - 日本口腔顎顔面技工学会
 - 日本睡眠歯科学会

- 業績等**
- 「徹底解説!ナイトガード エビデンスに基づいた睡眠時ブラキシズムの診断・治療」
鈴木善貴, 松香芳三, 大倉一夫, 安陪晋, 鴨居浩平: 医歯薬出版, 2020年6月
 - 「病院技工と大学」
鴨居浩平: Journal of Japanese Academy of Oral and Maxillofacial Rehabilitation Technology, 20(1):28-35, 2021
 - 「ビエール・ロバン症候群乳児における維持と調整機構を付与したPre-epiglottic baton plateの製作」
鴨居浩平, 大山正弘, 渡邊佳一郎, 中川竜二, 森達夫, 郷司彩, 小山智史, 福田潤弥, 富永賢: Journal of Japanese Academy of Oral and Maxillofacial Rehabilitation Technology, 22(1):9-15, 2022
 - 「睡眠歯科の羅針盤 28人の専門家による臨床実践」
奥野健太郎, 外木守雄, 片平治人...鴨居浩平: 医歯薬出版, 2025年3月
 - 「コンボジットレジン修復に用いるクリアインテックスの製作-歯科治療における3Dプリンターの新たな可能性-」
鴨居浩平, 細川育子, 渡邊佳一郎, 保坂啓一: 歯科技工, 53(4), 462-473, 2025



伊藤 彰規先生 伊藤企画 代表 / 歯科技工士

第3部▶ 歯科技工士としてどう在りたいか

歯科技工士という職業は、口腔機能を回復させるために補綴物を製作し、患者のQOLを高める重要な仕事である。そして、患者の笑顔や自信といった“人の心”にまで関わる職業でもある。しかし現実には、離職率の高さが課題となっており、その背景には労働環境や将来像の見えにくさなど、さまざまな要因が存在する。

本講演では、私自身の歩みとともに、印象に残る症例を通して「歯科技工士としてどう在りたいか」という原点を改めて見つめ直したい。技術的な詳細よりも、どのように考え、悩み、学び続けてきたのかという“プロセス”を中心に話したい。若手技工士の中には、「何かを変えたい」「一歩踏み出したい」と感じている方も多だろう。そんな皆さんに、挑戦する勇気と行動のきっかけ、そしてそれぞれの成長につながる糸口を見つけてもらえればと思う。歯科技工士という仕事の可能性と、そこにある楽しさを共有し、共に次の世代へと希望をつなげていきたい。

- 略歴**
- 2007年 香川県歯科医療専門学校 卒業
 - 2008年 大阪セラミックトレーニングセンター 卒業
 - 2008年 スマイルケア株式会社 勤務
 - 2009年 株式会社ABC Dental Laboratory 勤務
 - 2018年 奥田歯科医院 勤務
 - 2024年 伊藤企画 開業

- 所属学会 所属勉強会**
- 日本臨床歯科医学会 大阪支部
 - LSGP 神戸
 - i6
 - COKI
 - Gob X Gob
 - Level Next Study Club
 - SAFE
 - UGO

- 書籍**
- ジャパニーズ エステティック デンティストリー 2024 (QDT別冊)
 - これまでの骨造成、これからの骨造成 (別冊Quintessence DENTAL Implantology)
 - 外科術式とlongevityから再考するインプラント周囲組織マネジメント (別冊Quintessence DENTAL Implantology)
 - QDT / 2025年7月号 審美修復治療成功のためのプロセス